

3. 本計画の対象とする関連文化財群と歴史文化保存活用区域の選定

前項「2. 本計画に定める内容」を踏まえ、関連文化財群、及び歴史文化保存活用区域から、それぞれ保存活用の取り組みとして高い効果が期待できる対象を、以下のとおりに選定する。

①関連文化財群

「田崎草雲を生み出した足利の芸術文化のものがたり」

<選定の理由>

- 「基本構想」策定における調査において、関連文化財群を構成する文化財の保存活用に向けた具体的な取り組みが既に始められており、取り組みの効果を早期に確認することができること。

②歴史文化保存活用区域

「足利中央区域」

<選定の理由>

- 「基本構想」において、特に保存活用の取り組みを率先して推進する歴史文化保存活用重点区域に位置づけられていること。
- 「基本構想」で設定した 10の関連文化財群それぞれを構成する文化財が区域内に集積しているため、本区域の保存活用を推進することで、それぞれの関連文化財の保存活用への波及効果が期待できること。
- 公共交通によるアクセスが良好で、市外の来訪者に対して、足利における歴史文化を活かしたまちづくりを効果的にアピールできること。